



子育てコンシェルジュだより

富士宮市子育てコンシェルジュ (富士宮市立児童館内)
☎0544-21-3715

こんにちは、子育てコンシェルジュです。
「絵本はいつから読んであげるといいですか?」という質問をよく受けます。せっかく読んであげようとしても、関心を示してくれなかったり、なめたり、かじったり、挙句の果てに破いてしまったり…。
がっかりした経験をお持ちの方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。これじゃあ意味がないと思ってしまうかもしれませんが、これが絵本との大切な出会いであり、スタートでもあります。
今回は、絵本との触れ合い方についてお話していこうと思います。



読み聞かせは何か月から始めればいいの?

個人差がありますが、身の回りのものに興味や好奇心が芽生える6か月頃からは目安です。富士宮市では、6か月健診の際にファースト絵本のプレゼントがあります。これをきっかけにしても良いですね。

なめたり、かんだり、やぶいたりしてしまいますが…!

最初のころは舐めたり触ったりしながら確かめているので無理にやめさせなくても大丈夫。叱らずに「大事、大事」と少しずつ扱い方を教えていきましょう。今は舐めても大丈夫な本も売ってます。

どんな絵本を読んだらいいの?

「てんてんてん」「がたんごとんがたんごとん」のように、色がはっきりしていて、音やリズムの繰り返しを楽しむものが人気です。

始めから終わりまでちゃんと読まなくてはいけないの?

最初からページを順序よく見てはくれません。好きな場面だけでおしまいなんてこともよくあります。無理せず何度か見せたり、読んだりを繰り返しましょう。

絵本の読み聞かせを楽しむ4つのコツ!

- ①親も楽しむ…義務感だけで読んでもこどもは楽しめません。大人が肩の力を抜いて楽しんでいるほうが夢中になってくれます。
- ②集中する…テレビやスマホの音を消して、時間に余裕をもって読んであげましょう。
- ③こどもの反応を見ながら…こどもの成長は様々。その子にあった読み方をしましょう。
- ④絵本に合わせて読み方に変化をつける…ユーモアのある本は強弱をつけたり、間を開けたり、本を揺らしたり。こどもが反応を示したらあえて繰り返してみるのもおすすめです。少しの工夫で絵本の世界に引き込まれます。

絵本の読み聞かせのメリットと効果とは?

- ①親子でコミュニケーションがとれる…絵本を読む声はこどもに安心感を与え、肌のぬくもりや匂いで親子の親近感が高まり、信頼関係が強くなります。親の愛情を感じ自己肯定感も培われます。
- ②感情を豊かにする…こどもは絵本を通じて登場人物の気持ちを想像し、疑似体験します。喜怒哀楽を感じることで、心の変化を知ることが感情が豊かになります。
- ③想像力を育てる…想像力が豊かな人は、思いやりを持って人に関わることができ、相手の痛みもわかる感性豊かな子に育ちます。



絵本の選び方



★0歳児…視力が弱いので原色のものが興味をひきやすい。多くの色を見ることで脳に刺激を与えて発達します。絵は大きくてシンプルな絵本がおすすめです。

★1歳児…食べ物や動物など身近なものが出てくる内容や「クルクル、コロコロ」などの繰り返し言葉が出てくるリズムカルな楽しい絵本がおすすめです。

★2歳児…簡単なストーリーを楽しむようになってくるので、主人公に感情移入できるような絵本を少しずつ取り入れて行くのがおすすめです。



0, 1, 2歳のおすすめ絵本



	「おつきさまこんばんは」お月さまのやさしい表情にこどもたちも思わずにっこりの絵本です。		「ぶーぶーじどうしゃ」身近にみられるこどもたちの大好きな自動車がたくさん登場します。		「しましまぐるぐる」生後6か月くらいの赤ちゃんでも注目してしまう配色や形などを取り入れて作られた本です。
	「きんぎょがにげた」こどもの大好きな絵探しの本。指を差しながらきんぎょを探します。		「ねないこだれだ」夜中はおばけの時間です。なかなか寝ない子は、おばけの世界に連れていかれちゃうよ。		「がたんごとんがたんごとん」赤ちゃんの身近な哺乳瓶、スプーンなどが登場。繰り返し楽しめる絵本です。
	「きゅっきゅきゅきゅ」こぼしたミルクを「きゅっきゅきゅ」とタオルで拭いてあげるかわいい絵本です。		「だるまさんが」だるまさんの表情とリズムが楽しいシリーズの絵本です。		「かあかあおんなかあ」色々な顔の表情を真似したり、指さしたり、反応の変化も含めて楽しい絵本です。
	「てんてんてん」大胆なデザインの虫たちが登場。こどもたちを楽しめる音の世界に誘います。		「おしくらまんじゅう」いろんな物とおしくらまんじゅうしたらどうなるのかな? 遊びの楽しさを伝えます。		「びよーん」飛び上がるバツやにわとりと一緒に飛び上がって喜ぶこどもたち。赤ちゃんから大人まで楽しめます。

★自動車図書館ひばり号を知っていますか?★



ひばり1号



ひばり2号

遠く離れた図書館までわざわざ行かなくても、お近くのステーション(※)を巡回しています。散歩がてら、気軽に本を借りることができます。一度覗いてみると楽しい発見があるかもです。

◎ひばり号活用の手引き…本を借りるには「図書館利用カード」が必要です。巡回は同じ曜日に月2回。(もちろん返却のみもOK! 市内の図書館や交流センターで借りた本も返せます。)

- ◎ひばり号豆知識…①ひばり号は市内に2台。1号車、約3000冊、2号車、約1300冊を載せています。
- ②絵本、小説、趣味の本まで種類豊富な本を色々変えて載せてくれています。(毎週新しい本が入ります。また読みたい本などをお願いすると、次の巡回の際に図書館から取り寄せたり、見繕って持ってきてくれます。図書館にしかないCDなどを取り寄せることも可能です。)
- ③巡回場所(ステーション※)はなんと市内に60か所以上です。詳しい場所は図書館ホームページをご確認ください。きっとあなたの家の近くにも行っています。



※各図書館ごとに「えほんをよむ会」や「おはなし会」「子育てタイム」(お話室の開放)などが行われていますので、興味のある方は各図書館にお問い合わせください。

・中央図書館(26-5062) ・西富士図書館(54-2020) ・芝川図書館(65-2802)



地域の子育て情報や発達で気になることなど、子育てに関する事なら何でもご相談ください。土曜日は児童館に常駐していますので、お気軽に声をかけてください。(お電話いただけると確実です。) 連絡先: 富士宮市立児童館内 子育てコンシェルジュ ☎0544-21-3715
★毎月20日は「こども安全の日」です。地域全体でこどもたちを見守りましょう。